



N P O 法人 聴かせてケロ

市民公開 映画上映&トークイベント 「歩みを止めない力とともに」

会場の準備・設営・受付・片付け・
ボランティアブース&出店の等のお手伝いなどの

ボランティアを 大募集しています

講演の趣旨：被災地とがんサバイバー支援
病気や災害、大切な人との別れなど、予期せぬ「喪失」に
直面したとき、私たちはどう前を向いて進めばいいのでしょうか。
未来への希望を学びあう集いです。

日時8月29日 | 12:00~17:00

会場：横浜市健康福祉総合センタ4Fホール

ボランティア申込はこちらから⇒

<https://forms.gle/6hyWZYyV5zsvUn1R9>

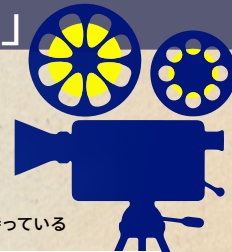


市民公開 映画上映&トークイベント「歩みを止めない力をともに」

がん治療の専門家である垣添忠生医師が見つめた希望。

歩け、歩け！

がんでも**震災**でも**逆境**にたたされても、人は**復活する力**を持っている



Dr.カキゾエ

歩く処方箋

～みちのく潮風トレイルを往く～

Dr.カキゾエ

上映時間120分 公開日：2025年8月8日 ドキュメンタリー映画

歩く処方箋 ～みちのく潮風トレイルを往く～

がんの専門家であり、自らも二度のがんを経験し、妻を亡くした喪失を抱える垣添忠生医師が、82歳で青森から福島まで1025kmを歩く旅に出る。がんサバイバーや震災被災者と出会い、三陸の自然と人々の言葉の中で“復活する力”を見つけていく、希望と再生のロードムービー。

出演：垣添忠生 みちのく潮風トレイルで出会った人
監督：野澤和之

3.11を忘れない
がんサバイバー
を支援しよう



引用：『Dr.カキゾエ 歩く処方箋～みちのく潮風トレイルを往く～』

震災で多くの命と向き合い、遺族の悲しみに寄り添ってきた高橋英悟住職。その経験から生まれる言葉を、垣添忠生医師はどうしても聞きたかった。住職との対話は、喪失の中にある小さな希望を見つめ直す時間となる。

トークイベント 登壇者
垣添忠生医師 / 高橋英悟住職

歩くことは、
人生をもう一度動かす処方箋になる！

8月29日(土)

13時上映開始 13:00~16:30
(12時40分から受付開始)

横浜市健康福祉総合センター 4Fホール

問合せメール：kerottocafe@gmail.com

主催：聴かせてケロ!!ケロットとカフェ / 協賛：曹洞宗 虎籠山吉祥寺 / 特別協力：慈愛サポートセンター合同会社
後援：横浜市教育委員会・横浜市磯子区社会福祉協議会・がん哲学外来市民学会
理事：大橋 洋平 / JA愛知厚生連 海南病院 緩和ケア病棟 非常勤医師
顧問：安藤 潔 / 東海大学医学部血液・腫瘍内科客員教授・がん哲学外来市民学会副代表

参加無料
参加申込
(当日迄)



<https://forms.gle/ZKxwxzNJzQ9evrs46>

※個人情報は本事業以外に使用しない。

被災地・がん患者支援
ブースコーナー設置

